



学校だより 2024

# Believe You Can

佐世保市立祇園中学校

学校だより

(令和6年6月1号)

文責 校長 田雑 健

令和6年6月13日(木)発行

祇園中校訓 : 「**理性 創造 尚志 自彊**」

目指す生徒像 : 理性:義務を果たす生徒 創造:意気盛んな生徒 尚志:思いやりのある生徒 自彊:忍耐強くやりぬく生徒

## 市中体(球技・武道・陸上)終了

9日(日)の雨で、一部競技は順延となりましたが、その後は晴天に恵まれ、令和6年度の佐世保市中学校体育大会(球技・武道・陸上)が12日(水)に終了しました。

ここで、部活動は大きな分岐点を迎えます。

県中総体へ進むみなさんは市代表としての決意を新たに頑張ってください。

部活動から離れるみなさんは、今までの部活動で得たことを今後の生活にしっかりと生かしてください。1・2年生は3年生の気持ちを受け継ぎ、次の目標に向けて励んでください。

そして、本大会だけでなく日頃からみなさんの活動を支えてくださっている方々に感謝の気持ちを忘れないでください。



明日14日(金)には市中体水泳が実施されます。残念ながら応援団は派遣できませんが、祇園の地から選手団の健闘を祈っています。



なお、10月には市中体のラスト



を飾る駅伝が行われます。駅伝については、これから時間をかけて練習を続け、走力の向上に取り組んでいくことになります。そちら



らはそちらで、新たな目標に向けてベストの走りができるようにがんばっていきましょう。

## いのちかがやく

左に書いているように市中体もまず球技・武道・陸上が終了しました。

各競技・応援に力を尽くした選手・部員のみならず、本当にご苦労様でした。今大会で得た結果を次の成長に役立てることができるよう、気持ちを新たに頑張ってください。

応援に参加したみなさん、みなさんの応援する気持ちは選手にも届いていたと思います。特に3日目の全校応援では、力のこもった応援ありがとう。競技本部からもお褒めの言葉を頂きました。

さて、大会前の激励会で各部代表決意の言葉のなかに「いろいろな方への感謝」がたくさん表現されていました。私(田雑)もソフトテニス競技に部長として参加し、多くの方々が大会運営に動いておられる姿を目の当たりにしました。本当に繰り返しになりますが、たくさんの方々の支援あつての市中体です。感謝の気持ちを大切にしましょう。そして、自分の将来の姿を考える際に、ぜひ、いつの日かどんな形でもいいので、こういった大会を支える側に立つこと、人の役にたつことも考えてほしいと思います。

学校全体としては19日(水)~21日(金)の3日間が第1回テストです。気持ちを切り替えて勉強すべき時には勉強に励みましょう。何をやるにしても「集中力」と「持続力」がポイントです。



6月は「食育月間」です。

毎月19日は「食育の日」です。

1回1回の食事を大切にしましょう。

## 応援ありがとうございます

生徒向け記事にもありますとおり、今年度の佐世保市中学校体育大会(球技・武道・陸上)【以下、「市中体」と略】が8日(土)～10日(日)の予定で開催されました。途中9日の雨で変更を余儀なくされ、軟式野球は12日(水)まで試合を行いました。そういった予定変更もありましたが、本校生徒は各競技で全力を尽くしたプレーを見せてくれました。

特に大会3日目、10日(月)には女子バスケットボール部の試合、軟式野球部の試合にバスを仕立てて全校応援に行かせていただきました。これもひとえに本校 PTA のご理解・ご支援のおかげと感謝しております。試合における選手の活躍はもちろんですが、試合終了後、競技本部から「会場での祇園中の生徒さんたちの一体感あふれる大声援を見て、あのような応援をされた選手たちは、とてもうれいでしょうし、大変励みになると感じました。仲間を大切に思う気持ちがとても伝わってきました。祇園中さんの応援により、競技会場が大変盛り上がりました。ありがとうございました。」とのお礼を頂きました。

また、保護者の皆様におかれましては、ご多用な中にご支援・ご声援を賜り、誠にありがとうございました。日頃のご支援あっての市中体であることを生徒も十分に自覚し、3日(月)に開催した激励会でも、各部代表が決意の言葉を述べる中で「支えてくれた家族へ感謝の気持ちを込めて、精一杯よいプレーを見せたい」など、その気持ちを示しておりました。

この市中体で得た結果をもとに、次の県中総体へ向けて進む部、選手もおりますので、引き続きご支援を賜ればと存じます。

なお、明日14日は市中体水泳競技が総合グラウンド水泳場にて開催され、本校選手団も出場いたします。活躍を期待しています。

## いのちかがやく講演会

6月22日(土)アルカス SASEBO 大ホールにて、講師に伊藤真波氏をお迎えして「いのちかがやく講演会」が開催されます。

**いのちかがやく講演会**  
たくさんの笑顔で、自分もまわりも輝くいのち

あなたの一言で、周りの笑顔が広がります。あなたも輝いたその笑顔のめぐりが、一人一人のいのちを輝かせます。たくさんの笑顔が溢れるように、一人一人の輝く笑顔が溢れましょう。

**いのちかがやく講演会**  
令和6年  
**6月22日(土)**  
14:00～18:30 (開場 13:30)  
アルカスSASEBO 大ホール  
2000名 入場無料  
※定員を超える場合は、入場をお断りさせていただきます。

【講師】  
**伊藤 真波 氏**  
元パラリンピック級日本代表  
日本人歴 最年少の奏者  
最年少のヴァイオリニスト

【演題】  
**「あきらめない心」**

音楽師として夢に向かって進んでいる中、交通事故によりお眼を失います。現実を受け入れられず苦しみながらも、前を向き、日本人最年少の奏者、パラリンピック日本代表として活躍されます。講演では、人生を振り返りながら、その時の想いを、素直に言葉で語ってくださいます。

【講師経歴】  
1994年 静岡県立伊豆音楽学校卒業  
2000年 静岡県立清水西高等学校音楽科 入学  
2003年 静岡県立清水西高等学校音楽科 入学  
2004年 文部科学省に選ばれる  
同年 文部科学省に選ばれる  
同年 文部科学省に選ばれる  
同年 文部科学省に選ばれる  
2007年 文部科学省に選ばれる  
2008年 文部科学省に選ばれる  
2010年 アジアパラリンピック1000人演奏  
2012年 ロンドンパラリンピック1000人演奏  
2018年 神戸国際音楽祭 演奏  
現 在 費用をしながら音楽活動中

※中学生・中学生が聞いてもわかりやすい講演内容となっております。たくさんのお声をお待ちしております。  
※講演の経験には、ヴァイオリン演奏もありません。  
※佐世保市内中学校吹奏楽部との合同演奏も予定しております。

西学校の取組  
講演会の1週間前、講演会を以て、講演会の効果を高めます。  
学校・家庭・地域が連携し、豊かな体験活動を行います。

## 6月は食育月間です

生徒向け記事にも前号から取り上げておりますが、6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」とされています。

これは、国の食育推進基本計画により、食育の国民への浸透を図るために、6月が「食育月間」、毎月19日が「食育の日」と定められているからです。

「食育月間」「食育の日」を機に、ご家庭でも「食」について話題にしていれば幸いです。

